

議会だより おかがき

No.78 12月定例会 平成22年1月25日発行

下水道料金値上げ条例可決 ● 3・8・9

下水道料金の値上げを問う

町政を問う ● 10～13

一般質問



あけまして おめでとろございます



- 横山 貴子
- 竹内 和男
- 久保田 秀昭
- 石井 要祐
- 三角 善彦
- 市津 広海
- 木原 信次
- 曾宮 良壽
- 下川路 勲
- 太田 強
- 大堂 園治
- 平山 弘
- 西田 陽子
- 藤崎 光
- 山田 隆一
- 矢島 恵子

新春のお慶びを申し上げます。



岡垣町議会議長
曾宮 良壽

漢字文化圏の暦では今年は「庚寅(かのえとら)」にあたります。六十年を一つの区切りとして考える暦を基にして東アジアの文化圏があり、有形・無形、時間と空間を支配してきました。

一昨年来の国内外の出来事は、「百年に一度」等と言われながら、暦の積み重ねである大きな歴史の中では、夢幻の類のものでしかないのかもしれません。

戦争当事者の現職大統領がノーベル平和賞を受賞したり、政権交代があったり、雇用不安の日本のデフレ下、中国では変わらぬ高度経済成長があったりと、行方が見えないう、定かでない状態がつづいていきます。

今年一年が、岡垣町と町民の皆様にとって、幸多い年であるようお祈りして、年頭のご挨拶とします。

漢字文化圏の暦では今年は「庚寅(かのえとら)」にあたります。六十年を一つの区切りとして考える暦を基にして東アジアの文化圏があり、有形・無形、時間と空間を支配してきました。

一昨年来の国内外の出来事は、「百年に一度」等と言われながら、暦の積み重ねである大きな歴史の中では、夢幻の類のものでしかないのかもしれません。

戦争当事者の現職大統領がノーベル平和賞を受賞したり、政権交代があったり、雇用不安の日本のデフレ下、中国では変わらぬ高度経済成長があったりと、行方が見えないう、定かでない状態がつづいていきます。



子育て支援をお願いね!

定例会

12月

概要

下水道料金値上げ条例可決

一般世帯の平均使用量20³mで380円

財政基盤の確立と適性な維持管理のため

12月定例会は12月7日～17日までの会期で開かれ、17議案、請願2件について審議しました。

●本会議で提出された主な議案は、

- ①平成21年度一般会計補正予算
- ②岡垣町下水道条例の改正
- ③福岡県遠賀郡芦屋町外二カ町競艇施行組合の解散
- ④人事議案1件

●請願書2件(改正貸金業法・下水道料金の値上げ)

●全員協議会は、

- ①行財政構造改革プログラムの進捗状況
- ②暴力団排除条例

●教育委員会委員に竹井久美子さん(再任・鍋田区)

●新型インフルエンザ予防接種費用	1,515万円
●子育て応援特別手当の廃止による削減	▲3,459万円
●山田小第2学童保育所施設整備費用	172万円
●山田小第2学童保育所施設リース料 (10年間総額)	2,436万円
●小中学校パソコン・テレビ等購入費用	1億6,032万円
●コミュニティバス運行委託料 (5年間総額)	1億9,250万円



17議案ほか決議について

議員の賛成○・反対●・退席退・欠席欠

採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
12月7日 岡垣町教育委員会委員の任命について	結 果	市津	木原	久保田	三角	下川路	石井	太田	矢島	西田	竹内	山田	平山	藤崎	大堂	横山
12月17日 岡垣町下水道条例の一部を改正する条例 他15件・請願・発議		広海	信次	秀昭	善彦	勲	要祐	強	恵子	陽子	和男	隆一	弘	光	圀治	貴子
岡垣町教育委員会委員の任命について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町下水道条例の一部を改正する条例	賛成多数 可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○
岡垣町農業及び漁業集落排水施設条例の一部を改正する条例	賛成多数 可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○
福岡県遠賀郡芦屋町外二カ町競艇施行組規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県遠賀郡芦屋町外二カ町競艇施行組合の解散について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県遠賀郡芦屋町外二カ町競艇施行組合の解散に伴う財産処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遠賀・中間地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び遠賀・中間地域広域行政事務組規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遠賀・中間地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町一般会計補正予算(第4号)	賛成多数 可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
平成21年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	賛成多数 可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
平成21年度 岡垣町老人保健事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	賛成多数 可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
平成21年度 岡垣町水道事業会計補正予算(第1号)	賛成多数 可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
平成21年度 岡垣町下水道事業会計補正予算(第1号)	賛成多数 可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道料金の値上げに反対する請願書	賛成少数 不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●

新駅 JR久留米高前駅

実現のあしあと

総務常任委員会

委員長 三角 善彦
副委員長 藤崎 光
委員 木原 信次
委員 平山 弘
委員 横山 貴子

久留米高校前駅整備方針

当該場所は、住宅の密集した地域であり、近隣には久留米高校をはじめ、8つの教育機関が集まった地域です。

このことから、通勤、通学者の利便性の向上など、地域の新たな環境空間を創出する駅前広場の整備を行ったものです。

整備費用は約5億4千万円

整備費用の内訳は、久留米市の負担は、用地代と施設整備費用をあわせて約4億5千万円、一方、請願者である期成会の負担は、鉄道施設整備費用の約9千万円です。

財源の確保

久留米市の負担分は、合併

特別債を充当しています。

一方、請願者（期成会）の負担分は、久留米高校の財産処分（土地の売却）による財源を充当しています。

なお、売却した土地にかかる税金は、税務署との協議のうえ無税です。

権利の調整

近隣にお住まいの住民からの苦情、反対者はまったくなかったとのこと。



期成会のチカラで実現！

海老津駅南側改札口の

実現のためには

久留米高校前駅設置推進期成会会長は、JR等に強いパイプを持っています。

JRは、鉄道部門は縮減の

方向で経営中とのこと。

海老津駅南側改札口の実現のためには、必要な財源を確保すること、そして採算が見込める事業内容をJRに提案することなどが求められます。

農林水産業と商工業の

連携を目指して

経済建設常任委員会

委員長 石井 要祐
副委員長 山田 隆一
委員 久保田秀昭
委員 下川路 勲
委員 太田 強

その施策の一つに「新しい村」整備計画が策定されその後資本金五千万円の町民参画型の社団法人有限会社「新しい村」が設立されました。

会社の主な事業は加工も含めた農産物の直売所、水稻苗、野菜苗、花苗の育苗施設等の

管理運営、更に新規就農等の支援も行っています。（新人農業塾含む）年々農家が減っていく中、全町民挙げて町の特色ある田畑を活かし素晴らしいまちづくりがなされ農と

商工の連携で商品開発や販売体制を確立し町全体の活性化が図られた地域づくりは参考すべきと感じました。

南房総市は枇杷の産地とし



市民農園を視察中

て歴史ある枇杷農家の町です。更に地域を活性化させる方策として「房州びわ」を看板に平成5年に道の駅「富浦枇杷倶楽部」を開設、資本金全額を市が出資し主な業務は特産品の加工、販売、卸業、観光農園で最近一年の売上は6億7500万円です。

岡垣町の特産品の一つとして「高倉びわ」があります。南房総市では特産のびわの規格外を買い上げ「枇杷倶楽部」で加工商品開発し、オリジナル商品を製造販売しています。

岡垣町においても全ての生産物の加工製品化した特産品の開発と観光整備等を提言していきたい。

福祉・教育の向上をめざして

文教厚生常任委員会

委員長	竹内 和男
副委員長	西田 陽子
委員	市津 広海
委員	矢島 恵子
委員	大堂 園治

特別支援教育の拡充・強化、精神障がい者への就労支援の視点から、本年10月26日より28日にかけて、兵庫県三木市、京都府舞鶴市、同福知山市を訪問。三木市と福知山市では、「特別支援教育事業、発達障がい早期総合支援事業」の調査。また、舞鶴市内で社会福祉法人「まいづる福祉会」によって展開されている、「精神障がい者就労支援事業」の現地調査を行った。まず、三木市の場合、障がい児・生徒に限らず、小中連携三木モデルとして、不登校対策で、前年比半減させる成果を挙げている。次に訪問した(社)まいづる福祉会では、「カフェ



障がい者の働きぶりを紹介するDVDを視聴

レストラン・ほのぼの屋」を運営。そこでは、結婚式まで執り行っていて、精神障がい者の人たちが「めざせ工賃5万円」といつていたものが、多い人では月額15万円を超えている。つまり、障害年金と合わせれば、優に手取り、20万円を超えすでに、障がい者の中から、2組のカップルも誕生している。最期に、福知

住民に身近な議会は、活発な議会の住民懇談会から

議会運営委員会

委員長	太田 強
副委員長	平山 弘
委員	三角 善彦
委員	竹内 和男
委員	石井 要祐
委員	矢島 恵子

町議会では、二年前から「議会の住民懇談会」を開催しています。しかし、年一回の開催であり、開催の持ち方等今後検討していく必要から「議会改革と活性化」について、特に住民懇談会開催などに先進地であるといわれている宮城県の柴田町、亘理町、女川町に11月17日から19日までの3日間視察にまいりました。

山市では、徹底した健診事業を(4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳、4歳、5歳児 行い、病気や障がいを早期に発見し、「個別の移行シート」にまとめ保護者の同意を得て、

学校につなぎ、教育・保健・福祉・医療の支援が一体的に行われていた。

岡垣町でも、これらを参考に、委員会で協議し、一層の福祉・教育の向上に努めたい。



積極的な議会活性化の取り組みを聞く

議会活性化の取り組みとしては、どの議会もいま住民の議会離れの状況の中に「身近な議会」とするため、議会活性化特別委員会などを設置して活発に論議されています。やはり一番活発に取り組んでいるのが「議会懇談会」でした。

関心が持ち易く、テーマ設定がしやすいとのことで、特定の団体などにしほりこんでの開催が多数ありました。また今起っている身近な問題に絞りこんでいる町もありました。

ただ議会の報告ではなく、町民が議会にどのような期待をしているのか、どのような

要望を持っているのかを膝を交えて聴くのが望ましいと考えます。執行権を持たないからと言って町民から逃げていては本當の懇談会は持てないとの話に反省させられる点が多々ありました。また、議員定数が削減され少ない議員数の中、常任委員会の統廃合、長期欠席議員の報酬減額等議会における町長の反問権などの説明に各委員から質疑が出されました。

新しい課題としてまとめていかねばと考えます。



さらに充実した「議会だより」

を目指して

議会広報特別委員会

委員長	横山 貴子
副委員長	三角 善彦
委員	市津 広海
委員	下川路 勲
委員	竹内 和男
委員	山田 隆一

町民のみな様に親しまれる「議会だより」との思いで、毎号編集させて頂いています。「議会だより」は、議会の改革と活性化として、開かれた議会づくりの役割を担っています。

さらなる編集力の向上のために、町村議会広報クリニックで評価をされている、宮崎県高千穂町議会、新富町議会、三股町議会に視察研修をさせて頂きました。

○視察内容

- * 編集方針
- * 表紙のテーマ及び構成
- * 紙面レイアウト及び文体
- * 現状の問題点や取り組み



新富町議会の皆さんと

○視察先の実績

* 高千穂町議会広報

町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を3回、ここ4年連続で入賞。



* 新富町議会広報
議会広報クリニック応募



* 三股町議会広報

議会広報クリニック応募



今回の研修において、表紙のレイアウト、写真の選定、配置について今後の編集作業に大きな収穫があったと思います。また、広報委員会としての今後の方向性も意思統一できた様に思います。

今回の研修の成果は、今後の「議会だより」をご期待ください。

今後も住民の皆様に関心を持って参ります。



11月24日に福岡県自治会館において開催された福岡県議会広報研修に出席しました。

「読まれ、親しまれ、役立つ議会広報のために」と題した研修で、審議の過程や経過を伝えることの重要性や各ページの役割や目的を把握し、それに合致した紙面づくりを学びました。

討

下水道料金の 値上げについて

論

反対の ポイント

**現在の経済状況を考慮すべきだ
財政調整基金の一部を活用すべきだ
経費削減の努力をすべきだ**

反対

平山 弘 議員

下水道使用料金の値上げは町の財政事情のみで、住民福祉の観点が何一つ考慮されていません。

今、国民・町民のおかれている生活状況は、100年に一度といわれる経済危機の中で、過去最悪になっています。

雇用不安・所得の減少の上、社会保障の切り下げで日々の生活は大変な状況です。

中小零細・自営業者の営業も深刻かつ底抜け状態です。

こんな時だからこそ、住民のくらしに想いを寄せる町政であるべきです。

何にでも活用できる財政調整基金が19億円あります。

今、この一部を活用すべきではないでしょうか。

西田 陽子 議員

失業率は過去最高、求人倍率は最低、雇用止め、派遣切り、貧困率は最高のこの時期に値上げが妥当かということ。住民への説明責任も貧弱。下水道は文化的インフラ整備であり、必要経費として例えば数百円であっても毎月上乗せされる。年金の先細り、医療費や介護保険料の増加等に合わせて、住民の負担は留まるところがない。他市町に比し、岡垣町は健全会計、公債比率も適正である。さらに一般会計の見直しを住民との協働で事業仕分け等をして、削減し、その分繰り入れができる。削減の努力をしてからでも値上げは遅くない。職員地域手当は4年分で1億円を越す。



賛成の ポイント

一般財源から 4億7,300万円
 累積赤字も 2億2,000万円
 終末処理場の維持管理に毎年約 7,200万円



大堂 圀治 議員

効率的な運営に一層の努力を

町民の文化的な生活を守り、向上させるうえで下水道事業の安定は重要であります。

更なるコストの切下げや効率化などの運営努力をして頂きたい。今後の整備計画の推進に当たっては、合併浄化槽の採用等も検討していく必要があります。年収減や負担増で生活が苦しくなっている時の公共料金の値上げは、町民の皆様にご心苦しくて忍びないと思っております。

現在の使用料金は県下でも低レベルであり、運用開始、約20年後で初めての値上げであり理解をして頂けると思いますが、今後は町民の皆様への説明責任を十分に果たして頂きたい。

太田 強 議員

岡垣町の中にはまだ下水道が整備されていない地域もあり、等しく恩恵を受けるべき公の施設も地域によっては経済的効率性から整備が難しい所や遅れている所もでてきます。

下水道事業に関しては、多額の建設投資や維持管理費が必要で、現状では、企業債残が約89億円、一般会計からの繰入れ金が年約4億7千万円、しかも欠損金の累計額が約2億2千万円です。

出来る限りの整備区域の拡大を望みますが、これ以上の財政負担は、町の将来につけを残します。

恩恵を被っているみんなので支えあつて健全経営に努めるべきと考えます。以上から議案58号に賛成といたします。

下川路 勲 議員



要は水道料金の値上げの改正です。誰でもどなたでも高いより安い方がよいに決まっています。今それだけでなく働く場がない、年金も削られ現状は厳しい生活ですが、ここで改正しなければ平成27年には資金不足に陥り、しかもいまだに未整備地域もあります。2148名の数多くの値上げ反対の陳情も出ていますが、それだけ今の生活が厳しいと言うことであります。

常々説明責任と叫ばれていますが、議決がなければ公表出来ないという事情もあります。一般の方の理解と協力が必要です。今後は許せる範囲で説明責任を求めて賛成討論とします。

山田 隆一 議員



下水道事業は生活環境の改善等の目的でH3年より順次供用開始し、H22年度をもって計画区域の整備を終る予定です。町全世帯の92%が恩恵を受ける事になる。現在下水道事業に毎年税金から4億7300万円を使っている。また累積赤字も2億2000万円とふくらんでいる。この為今回の下水道料金値上げの提案です。下水道料金は税金ではありません。利用料です。受益者負担という考えから受益を受ける人が応分の負担をする事は当然の事です。値上げをしなければ赤字はふくらむばかりです。後世につけは廻せません。この事を主張して賛成するものではありません。

町政を問う

一般質問



大堂

事業評価に外部評価制度の導入を

町長

事務事業組織改編において導入を検証したい



大堂 園治 議員

大堂 政権交代による地方自治体への影響について、どのように認識しているか。

町長 民主党のマニフェストの実行や政治手法の変化により、大きな影響が予想されるので国の方針が示された後に町の方針性を定めていきたい。

大堂 協働の町づくりの理念をどのように認識しているか。

町長 住民と行政が信頼のもとで、パートナーとなり、情報提供や広聴活動などを行い、住民の主体性を尊重して、支援をしていくことが重要であると考えている。

大堂 町づくり計画から住民が参画し、共に行動して責任も分かち合い、住民自治力を高めることが重要だと考えるが。

町長 住民の声を取り入れて活力のある元気な町づくりに努力していきたい。

大堂 協働の町づくりには町の情報を共有することが重要だが。

町長 私もそのように考えており、情報提供に努めている。

大堂 現在、実施している事務事業評価制度は内部評価であり、甘いと思うので外部評価を取り入れるなど、充実化が必要だと考えるが。

町長 より簡素で実効性のある方向で見直していきたい。

大堂 新しい政権では事業仕分の手法を実行して国家事業の見直しを、積極的に進めてい

るが、町でも実行していく考えはないか。

町長 現在進めている事務事業組織改編において、約600本の事業について見直しを行っている。その中で国や先進地の事例を参考に外部からの視点を導入した客観的な評価と検証を進めていきたい。



事業の調査は欠かせない!

竹内 「ハート・プラスマーク」の促進を!!

町長 町広報やホームページで普及を図りたい!!



竹内 和男 議員

竹内 内部障がい者への支援策の一環として、公共施設等の利用に際し、配慮すべき点として、「ハート・プラスマーク」の促進を図るべきだが。

町長 まずは、内部障がい者への「思いやりの心を増やす」ハート・プラスマークの持つ意味を広報おかがきや町ホームページなどを活用し、町民に普及を図りたい。

竹内 道路標示や看板等にも設置できないか。

町長 まず、住民に認識してもらおうところから始め、出来るところから考えて行きたい。

平成22年4月から町のコミュニティバス路線に導入する低床型バスの車内にもこのマー

クを掲示する準備を進めたい。

竹内 妊婦への無料接種を!!

町長 接種は無料で検討する

竹内 新型インフルエンザで

は、ゼロ歳児は、予防接種で免疫・抗体がでにくいといわれている。

子育ての観点から、優先接種者の妊婦へ、無料接種ができないか。



寒い季節に気を付けて!

町長 妊婦が、新型インフルエンザにかかると重症化しやすいといわれている。

妊産婦無料健診も3回から14回に増やしてきたように、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めていきたい。妊婦へ

平山 小規模工事等の登録制度はどうなっているか

町長 受注を希望する業者名簿を作成し、受注機会を拡大したい



平山 弘 議員

平山 厳しい経営状況にある中小零細業者・自営業者の方への町の支援の一つとして、小規模工事等の契約ができる登録制度の創設について、町長は「やぶさかではない」といわれたが、その後どうなっているか。

町長 小規模工事登録制度と同様の運用をすでに実施しているの、新たな制度の創設は

の新型インフルエンザの接種は、無料化で取り組んでいきたい。

ただし、補正予算を計上しなければいけないので、議会とも相談し、願う。

考えていない。

しかし、町内の指名競争入札参加資格の無い業者を全て把握できていないので、小規模工事などの受注を希望される事業者について名簿を作成し、受注機会を拡大させ、町内経済の活性化を図っていきたい。12月10日号の広報おかがきで、小規模工事の受注を希望する業者への周知を行う。

平山 今度の補正予算の中に、小中学校のICT(情報通信技術)環境整備としてデジタル化に対応するテレビ・ビデオ125台、パソコン266台の買換え事業として、1億6000万



情報通信化がもたれる岡中

円が計上されている。この事業を発注するにあたって、町内の電気屋さんに周知し登録してもらって、町内業者が助かる事業に、活性化に役立ててもらいたい。

町長 できるだけ町内の業者を指名していきたい。町内の業者等に届出を申し入れている。

*その他、平山 弘議員は、①緊急雇用事業について、②二吉団地木造4戸の建替えについて、③国民健康保険の資格者証世帯への保険証の発行についても質問しました。

太田 第五次総合計画の策定をどう進めて行くのか

町長 『選択と集中』の考えで進める



太田 強 議員

太田 国の政権交代で交付金補助金が不透明な中、町長の公約「五つの約束」をどう進めて行くつもりか。

町長 新政権では、行政刷新会議が設置され「事業仕分け」が行われているが、市町村に大きく影響を受けるものも多く含まれており、その動向も不透明な状況である。
国の政権に関わらず岡垣町の住民福祉の向上を目指し、私の公約「五つの約束」を着実に果たしていくことが私に課せられた使命であり、今後も国の制度改正など動向を見極めながら進めたい。

太田 第五次総合計画の策定の進捗状況と町長の考えをどう

う折り込んで行くお考えか。

町長 私が委員長となり副町長、教育長、各課長で構成する「総合計画策定委員会」及び中堅若手職員で構成する「ワーキング会議」を設置して進めている。今後、議員や住民団体等委員とする「総合計画審議会」



未来を担うおかがきっ子

を設置する。策定分野を「環境・生活基盤整備」、「産業振興・地域活性化」、「福祉・教育文化」、「行財政運営」に分け、「選

矢島 駅前広場の利便性と、安全確保について問う

町長 駅前広場の既存施設の整備などは考えていない



矢島 恵子 議員

択と集中」の考えの下で事務事業を整理し、将来の財政確保を目指した発展性を求める政策を折り込みたい。

通機関の利用へとシフトして行くことで、交通渋滞の緩和がはかられていくと考えている。

第二次公共交通体系整備計画に基づき、公共交通の利用しやすい環境整備に向けて取り組みを進めており、駅前広場の既存施設の改修や整備などは考えていない。

公共交通機関の利用促進が非常に大きな課題であり、その事が路線バスの存続にも連なるので、住民への啓発に努めていく。

矢島 中心市街地の空洞化は、近隣の団地に居住する多くの高齢者や、移動手段を持たない人達にとっては、日常の生活に大きな不安と支障をきたしている。



「駅前広場の利便性」は？

旧寿屋を中心とした周辺の再生・賑わいづくりについて、現状の課題解決について問う。

町長 活性化に当たって、旧寿屋あとの有効利用は優先的に取り組むべきと考え、その誘致については、商工会をはじめ関係者と協力を図りながら、積極的に取り組んでいるところである。

一階の活用についても、一階のスーパー誘致と併せて、より効果的な住民の利便性を考慮し、具体的に公共の利用に向けて話を進めたい。

西田 協働のまちづくりのために住民参画と情報公開を推進すべきだ

町長 基本的にはそのように考える



西田 陽子 議員

西田 協働のまちづくりの前提となる住民参画の推進で審議会等の見直しはどのようにされているのか

町長 兼職、期数の制限、公募のあり方など現在検討中。

西田 内閣府は平成11年に見直せと言っている。傍聴や会議録の公開、お知らせなどの広報についての考えは。

町長 審議会の目的と理念に沿ってやる。見直すべきは見直すが、すべて傍聴というわけにはいかない。

西田 傍聴など公開することは住民に情報を提供することでは。

町長 町民の町政への参加と言うことからできるだけ公開

したいと思っている。

西田 情報公開の目的に町民への町政参加を促すとある。町長が言われる町民との協働、情報の共有のためには情報は進んで出すことでは。

町長 情報公開条例に基づいて行なわれている。求められた情報でも野放しに公開するというものではない。

西田 地域手当の期末手当に含まれている部分は算出でき



みんなで協働のまちづくり

ないのか。

町長 地域手当の額は公開しています。

西田 きちんと公開しなければ町への信頼が損なわれる。町長が開かれた町づくりと言わ

三角 地方分権は実現すべきか

町長 自己の責任と権限でまちづくりが進められる制度の確立が必要



三角 善彦 議員

地方分権社会について

三角 分権社会実現のため、地方自治体はどんな準備が必要であると考えるか。

町長 まちづくりは住民に身近な基礎自治体が担うべきであり、自らの責任と権限でまちづくりが進められる地方分権の制度の確立が必要であると考える。

国や県と市町村がその役割や権限を明確にすること及び

れるならもつと情報を公開すべきでは。

町長 協働のまちづくりには信頼関係が最も重要である。住民との信頼関係、私と議員との場合も同様である。

確実な財源を確保することはもちろん、住民のまちづくりへの参加意識が高揚するとともに、自己の責任と権限による自治体経営を担う職員の意識向上と人材の育成を図ることが重要であると考える。

議会ライブ中継と執行部の反問権について

三角 まちづくりの議論を深め、一方通行の議論を見直すため、執行部に反問権を付与すべきと考える。

また、その議会の内容を公民館のテレビ等でみることができ環境を整備すべきと考え



情報発信はこの場所から!

町長 ライブ中継の導入については一定の効果があると考えますが、費用、人員配置、通信環境など多くの課題があることから、その必要性及び効果等について十分に検討することが必要であると考える。

反問権については、議会の議論の活性化、論点、争点の明確化等に効果があると言われるが、審議時間等に与える影響なども含めて、総合的に判断することが必要であると考え

そのことが住民に身近な町政、住民福祉の向上につながるものであるならば、議会の総意によりご検討いただきたいと考える。



成人おめでとうございます。

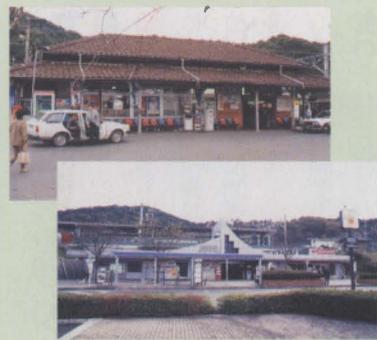
1月11日(月)岡垣サンリーアイにおいて成人式が行なわれました。
岡垣町の未来を担う若者の今後の活躍を期待します。



どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は
3月5日(金)
開会の予定

海老津駅は2月6日で
開業100周年を迎えます



私は海老津駅のホームに立つと戦中戦後の時代に通学通勤のほか、人生の節目である新婚、還暦の旅立ちに利用した泣き笑いの思い出が蘇ります。

今後も岡垣町の玄関として、末永く地元の方々に愛され、発展されますよう祈念します。
上海老津区 後藤 信一さん
(元国鉄職員・平成21年秋の叙勲受章者)

編集後記

下川路 勲

暑い暑いと言っていたかと思えば、もうお正月も過ぎ、まさに「光陰矢の如し」です。

昨年の流行語大賞は、先の総選挙の結果から「政権交代」に決定しました。景気はデフレ方向に進み、物の安さに喜ぶ反面、別な立場から見ると、経済はますます悪化し、円高や株価の下落と、日本経済の見通しは全く予断を許さない厳しい状況にあることは、皆様のご存知のとおりです。宮内町政は、はや一年。議員の私達は、中立公正にチェックする立場を守るべく皆様の声を聴き、また大切と思っているところです。自己の研鑽も重ねつつ、寅年に相応して勇猛果敢に進む所存です。

発行責任者

議長 曾宮 良壽

議会広報特別委員会

委員長 横山 貴子
副委員長 三角 善彦
委員 市津 広海
委員 下川路 勲
委員 竹内 和男
委員 山田 隆一